

令和4年3月1日発行

鶴嶺東地区社会福祉協議会

つるみね東
ボランティアセンター

茅ヶ崎市矢畑129-4
センター長 河本 親秀

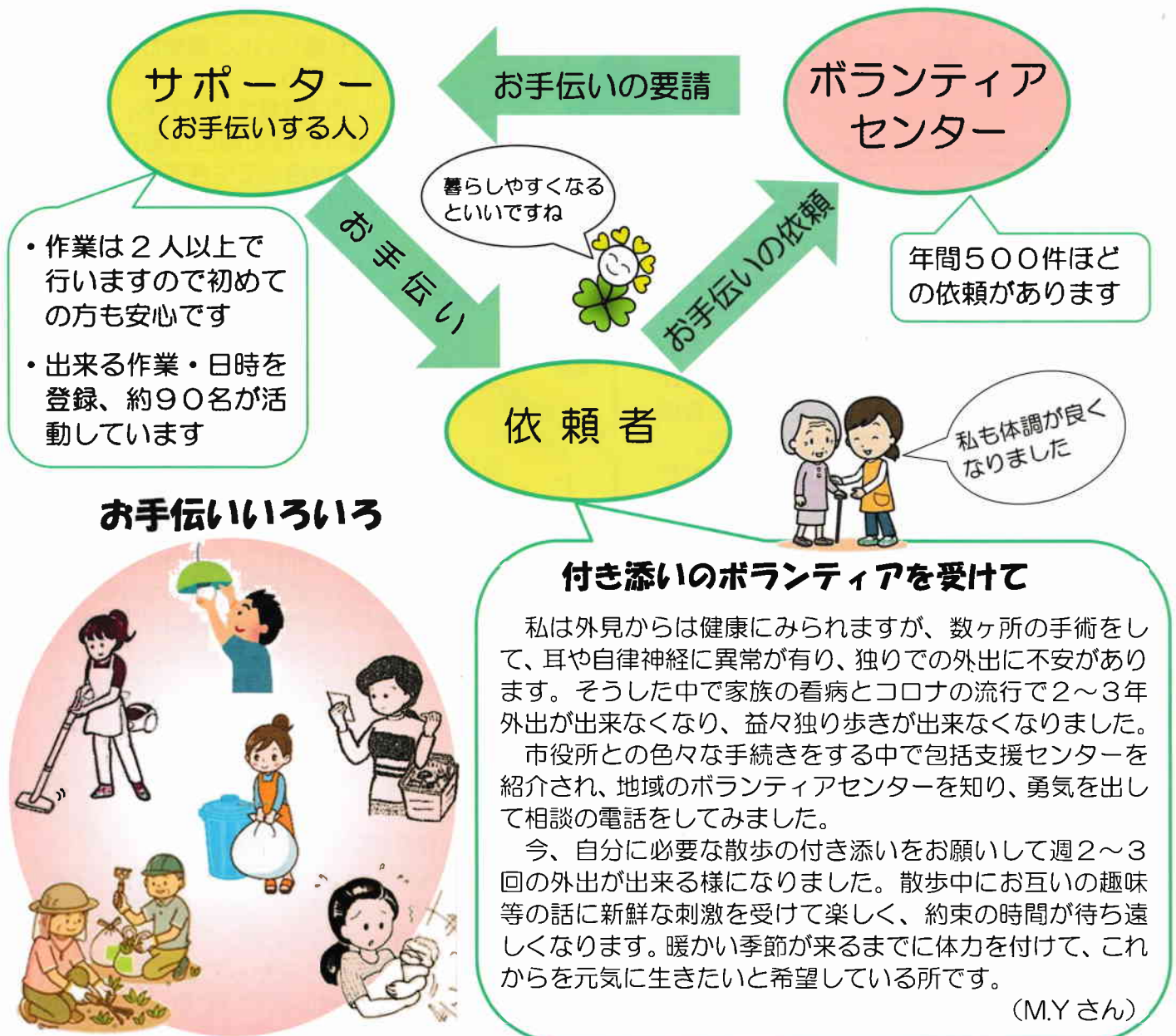
TEL・FAX 0467-86-7639

住み慣れた地域で
安心して
暮らすために…



日常生活で、ちょっと手助けがほしいと思ったら、

気軽にご相談ください



ボランティアセンターは地域住民がお互いに助け合い、支え合う活動の拠点です

あなたも地域の支え合いに参加しませんか 出来る時、出来る事で

地域の事を知りたい

30年間、家と会社とを往復、ひたすら仕事をこなす日々、2・3年で退職という時に、茅ヶ崎に長年暮らしていても地域の事が何もわかっていない事に気付きました。

ボランティアで何かお手伝いをできたらいいなと思い参加させていただく事に。身体を動かす事が好きなだけで特技などはありませんが…。

スタッフの優しさ、細やかな心遣い、とても勉強になります。利用者さんに会うのも楽しみです。5～6年たちますがサポーター同士のつながりもでき、趣味の情報交換などもあり、退職した今もお陰様で楽しく充実した生活を送っています。

(E.Mさん)



サポーターさんの声をお届けします

小さな力も重なれば可能に

かつて通勤時に駅のホームで白杖を使いながら駅員さんの補助で電車に乗る若者の姿を度々見た。それが私のボランティアに関わる出発点だったと思う。

現在、児童の通学支援に携わって1年近くになる。私達が関わることで楽しい時間を過ごすことができ、将来に繋がるのなら喜んで関わらせていただこう。楽しそうにしている瞬間を見ると私も嬉しいし、健やかに大きく成長してほしいと願う。

支援は、一人では背負えなくても、小さな力であっても重なれば可能になることもできると思う。助け合って生きていくということを、私達大人は子供たちに伝えていく責任がある。

一人ひとりの意識が力になると信じて今後も関わっていきたいと考えている。

(M.Wさん)



思いいろいろ

人生の先輩方のお話も楽しく

ボラセンのサポーター活動に仲間入りして十年余りになります。かつて実家の父が地域のボランティアさんにお世話になっていたこともあり、以前より関心を持っていました。仕事に区切りがついた時、地域のつながりにも関わりを持ちたいと思い、近くに看板を出していたボラセンに登録をしました。

コーディネーターが、上手に調整してくださりスムーズに活動をスタートできました。

私のできることは日頃の家事の延長のような簡単な事ですが、人生の先輩方の貴重なお話を聞け、その都度「ありがとう」と大変喜んでいただける。それが嬉しいです。今までに、掃除・草取り・通院や買い物の付き添いなど、依頼者の方が心地よい生活ができるようにと心がけてお手伝いをしています。

(M.Hさん)



新しい仲間です
よろしく

自らの体験から



私がボランティアセンターに興味を湧いたのは広報に挟まれていた広告でした。

東京下町生まれの私。3歳の頃男の子とケンカをして肩の骨が外れてしまいました。母は身重で大きなお腹。その日は土砂降り。痛がる私を傘もささずにおんぶして病院に連れて行ってくれたのはお隣のおばさんでした。今でもその大きな温かな背中を覚えています。三つ子の魂百まで。私の魂に刻み込まれている助け合う温かさ。

私は5年前、子供が7歳と5歳の頃、膝を手術しました。洗濯物を干す3階の屋上まで、鉛の様な重い足を引きずって上がっていました。階段から落ちたらもっとひどい怪我をしてしまう。そう思いながら無理をして毎日洗濯物を干していました。

下町人情の温かさを知っている三つ子の魂と、自ら人に助けて欲しいと思った体験から、この度サポーターに登録させていただきました。

(みなこさん)

つるみね東ボランティアセンター

火・金曜日 9:30~12:00

時間外は留守番電話、ファックスで受付

TEL・FAX 86-7639

E-mail tsuruminehigashi723@dg7.so-net.ne.jp